

最優秀賞

神奈川新聞社長賞

おばあちゃんの願い

開成町立開成小学校

四年 小栗行真

ぼくは、福祉と聞いて意味がわかりませんでした。辞書で調べると、「人々が安心して暮らせる環境」と書いてありました。「福」も「祉」もどちらも「幸福」や「幸せ」を意味する漢字で、福祉は人の幸せと考える事ができるそうです。ぼくは、山北のおばあちゃんの事を思い出しました。

山北のおばあちゃんは、去年の八月に肝ぞうがんで亡くなりました。がんが進行し、お医者さんに「最期にすごす場所を決めて下さい」と言われ、おばあちゃんは「自分の家ですごしたい」ときぼうしました。おばあちゃんの願いを叶えるため、沢山の人がサポートしてくれました。お医者さんや看護師さんが家にしんさつに来てくれました。だんだん動くのが大

変になり、一人だとあぶないので、お父さんとおじさんが交代でつきそいました。お母さんとおばさんが食事を作り、手に力が入らないおばあちゃんのために、ほくも食事を食べさせるお手伝いをしました。お風呂が大好きだったおばあちゃん。体が動かなくなり、ねたきりになってしまったので、訪問入浴かいこの人に来てもらい、お風呂にいれてもらいました。大好きなお風呂に入れて、おばあちゃんはニコニコ笑っていました。

八月十一日はおばあちゃんの命日でした。一年前、おばあちゃんのお世話をしている時は、福祉について考えもしませんでした。でも、おばあちゃんの願いを叶えるために、みんなでおばあちゃんを支えてあげた事が「福祉」なんだと今は思います。おばあちゃんの願いを叶えてあげる事が、おばあちゃんの幸せになるからです。願いを叶える事ができたおばあちゃん、天国でうれしい気持ちでいると思います。福祉をもっと知り、人の幸せのために自分のできる「福祉」を考えていきたいです。